

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血者におけるあらたな B 型肝炎ウイルス (HBV) 感染の発生頻度の調査 (過去から見たコホート調査による献血者集団での新規 HBV 感染の頻度調査)
研究期間 (西暦)	計画承認時～2021 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社中央血液研究所
研究責任者職氏名	所長 佐竹正博

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

[目的] 献血者の過去の検査データを分析し、1 年間に国民がどのくらいの頻度で HBV に感染しているかを探ります。[意義] 国民の現在の HBV 感染の実態を把握して国の保健医療政策の立案の基礎資料とします。[予測される成果] 明らかになった頻度から、日本の男女別、年齢別、地域別の HBV 感染率、感染数が判明します。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液の種類：なし

献血血液の情報：HBV 核酸増幅検査の結果、HBV 抗原・抗体検査結果、HBV の遺伝子型・遺伝子配列・ウイルス量。献血者の肝機能。

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

広島大学医学部疫学疾病制御学教授 田中純子

4 研究方法《情報の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

過去の 7 年間 (2008 年から 2014 年まで) に複数回献血をした方の検査データを調べ、HBV 未感染の状態から陽性となった人の頻度を計算します。また、献血者の新規 HBV 感染の頻度から全国民における HBV 感染の新規感染数がどれくらいかを推定します。HBV の遺伝子型やウイルス量を調べますが献血者自身の遺伝子を調べることはありません。

5 献血血液等の使用への拒否について

自分のデータをこの研究に含めてほしくない場合には、お申し出により対応することができます。ただし、検査データそのものを献血者の基本データベースから削除することはできません。データがまとまってからその数を差し引くこともできません。

6 上記 5 を受け付ける方法

下記の問い合わせ先にご連絡ください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社中央血液研究所
担当者	佐竹正博
電話	03-5534-7500
Mail	m-satake@jrc.or.jp